

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路交通施設課

担当課長名：松井 直人

事業名	都市計画道路守山本通線(名鉄瀬戸線高架化事業)		事業区分	街路	事業主体	名古屋市	
起終点	自：守山区小幡南二丁目 至：守山区大森二丁目		延長	1.9km			
事業概要							
<p>本事業は、街路事業である都市計画道路守山本通線と直轄国道事業である国道302号との合併事業であり、名鉄瀬戸線の小幡～大森・金城学院前間を高架にすることにより、立体交差化するものである。本事業の実施により9箇所の踏切を除却し、踏切事故や交通渋滞などの解消を図るとともに、守山本通線、国道302号及びその他10箇所の立体交差道路を設けることにより、地域分断の解消を図るものである。</p>							
S63年度事業化		H5年度都市計画決定		H12年度用地着手		H20年度工事着手	
全体事業費	249億円		事業進捗率	33%		供用済延長	0km
計画交通量	50,600台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年	
	(事業全体) 3.0 (残事業)	(残事業)/(事業全体) /206億円 (事業費：/206億円) (維持管理費：/0.39億円)		(残事業)/(事業全体) /620億円 (移動時間短縮便益：/604億円) (走行経費減少便益：/14億円) (交通事故減少便益：/1.6億円)		平成20年	
事業の効果等							
客観的評価指標に対応する評価項目							
<p>①道路ネットワークの形成 整備される都市計画道路 … 守山本通線、小幡西山線、一般国道302号 除却されるボトルネック踏切 … 小幡5号、喜多山2号</p> <p>②鉄道により一体的な発展が阻害されている地区を解消する … 苗代学区、小幡学区、大森学区</p>							
関係する地方公共団体等の意見							
「守山区公職者会」などから立体交差化の早期完了要望が毎年寄せられている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
JR東海中央本線の勝川駅付近連続立体交差事業が平成22年度完了予定であり、名古屋環状2号線（一般国道302号）東北部の未整備区間がほぼ同時期に完了することとなる。また名古屋環状2号線東南部においても整備が進んでいる。したがって今後の交通量の増加が見込まれ、早期の立体化が望まれている。							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
事業認可を平成12年3月に取得し、用地買収を進めている。工事協定を平成18年3月に締結し、平成19年6月に喜多山検車区の移転工事を完了し、仮駅工事に着手する。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
仮線で使用する側道の拡幅の用地取得については、権利者数も多く、用地交渉に時間を要しており、現在約54%（H19年度末面積ベース）であるが、平成22年度を目途に行なっている。							
施設の構造や工法の変更等							
本事業は、鉄道側による施工が大部分であるため、コストの縮減に関しては、経済的な施工方法や構造の検討を鉄道側へ要望している。							
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	都市計画道路守山本通線、国道302号始め9箇所の踏切が取り除けるとともに、12箇所の交差道路ができ、渋滞の解消などが図られる事業効果の非常に高い事業であるため。						
事業概要図							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。